

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	桜谷福祉会 ブルーメひめじ		
○保護者評価実施期間	6年 12月 16日		7年 1月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	6年 12月 16日		6年 12月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	7年 1月 21日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者に向き合い個性を尊重しながら人間関係を円滑に図るための基本的なあいさつ、人間形成の支援。	節目節目でのあいさつを基本としトラブル発生時の聞き取りをする中での公平性をもとした納得するまでの支援。	事業所内での人間関係の育成を図りながら対外的な買い物など実生活に沿った社会生活場面の経験を体験しながら取り組んでいく。
2	5領域 健康・生活 運動・感覚 認知・行動 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性 を図れるよう支援いたします。	事業所の過ごしやすい環境設定の充実を図りながら日々の清掃・消毒を取り組みながら手洗いマスクなどの取り組みを実施していく。	運動・感覚 の支援をより具体的に支援できるように作業療法士の支援をもとに取り組みを進めております。
3	本人の思いを中心とし家族からの要望を聞き取り課題解決へ向けて取り組みを進める。	家族支援の時間設定を行い課題解決の相談支援を行う。	ペアレント・トレーニング講座の実施

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域支援・地域連携をはかるための関係機関との連携が不十分である。	相談支援事業所との連携は取り組んでいるが課題解決に向けての関係機関との連携の具体的な必要性がでてくるなどの課題があれば取り組んでいく。	2月に行う講演会の参加者を見ると保護者をはじめペアレント・トレーニング講座の経験者の参加などあり、学校の先生など連携を図るうえでの取り組みを進める糸口になると思います。
2	対外的な研修への参加。	出来るだけ従業者からの要望は取り入れ研修に参加しているが必要人員等の確保もあり変更する場合もある。	行政からの情報提供などを掲示するなどし参加しやすい環境を作る。
3	安全衛生、虐待防止、身体拘束、業務継続計画など計画や会議は実施しているが内容の充実及び保護者・従業者への浸透徹底が不十分である。	内容文言が一人一人に浸透できておらず評価表に反する意見が出るなどあるので周知を行いたい。	定期的な周知の実施と内容の改善を行う。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 桜谷福祉会 ブループひめじ

公表日 令和7年 2月 10日

利用児童数 24名(25名) 1組兄弟のため

回収数 18名

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	17	1			前より狭くなったように感じる	児童発達支援事業の場所を確保したので狭くなりました。活動の工夫を行っています。
	2	16			2	こちらの知識不足	児童発達支援事業の職員もいるため多く配置しています。
	3	17			1		分かりやすく配置しているが事業ごとの場所の確保が必要なため狭くなる場合があるが公園などの利用で活用している。
	4	18					
適切 な 支 援 の 提 供	5	17			1		経験が少ない職員が多く場面、場面での対応等指導している。
	6	17			1		おおきな違いはないが一人一人の支援の部分では違いがある。
	7	18					
	8	18					
	9	18					
	10	17	1				固定化しないよう取り組みがある程度活動への希望もあるので工夫しながら取り組んでいる。
	11	5		1	12	この部分についてはあまり求めない	児童クラブとの交流は少ないが地域の公園では交流できています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	18					契約時に行うが足りないこともあるので変更等の場合に伝えるようにする。
	13	18					計画の作成時に行っている。
	14	15	1		2		今まではできていなかったため次年度より取り組みを進めていく。
	15	18					保護者への連絡は密にとっている。
	16	17	1				6年9月に行ったが人により時間が取れない場合があり全員は出来なかった。
	17	18					療育支援において未熟な職員がいるので支援場面において支援方法を繰り返し伝えている。
18	18					こちらが参加できていない。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18					子供、親からの発信はできるだけ細かくとらえるようにしづくに改善ができるよう取り組んでいる。
	20	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18					特に言語での意思疎通が難しいなどあるので文字や絵カードの活用を行い情報が伝わるなど取り組んでいる。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12			6		今後はホームページの発信及び通信等取り組んでいきたい。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17			1		出来るだけ気を付けるようにしているがわからないとの回答もあるので十分に配慮していきたい。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17			1		防災訓練については毎年定期的に行っているが他の分野についてはできていないので計画に入りたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18					実施している。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18					屋内での活動については十分に配慮できているが、外出等においては予測されない場面があるので最大限の配慮を行う。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18					事故発生についてはマニュアルに従い連絡対応を行っている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	1				毎回楽しみにしています。とてもうれしそうです。週1回の利用ですが毎週楽しみにしております
	29	事業所の支援に満足していますか。	18					とても満足しています。子供のことをよく見てくださって支援してくださってありがたく思っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		桜谷福祉会 ブルームひめじ		公表日		令和 7年 2月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2		スポーツ系の活動が間仕切れて使えるスペースがあればよい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	4		足りていない時があるが基準より多く配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	出来るだけ工夫している	バリアフリーではないが配置等の工夫を行い取り組んでいる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		アルコール消毒をこまめにおこなっている	掃除手洗い等清潔に気を付けており活動が気持ちよく取り組めるよう改善を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	4		場合により他の部屋も使用するが混乱の要因にならないよう活動場所は固定している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	3		出来るだけ参加できるよう取り組んでいるが場合によりトップダウンで進めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		会議の時に保護者の意見をもとに業務改善の話があった。	会議の時に評価表をもとに取り組みの検討を行う。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			主に職員会議において意見を聞くようにしており細かなことであればその時々において改善を行う。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4		令和7年度に行う予定である。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			確保は難しいが研修などは随時やっつけなければと思う	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			5領域に沿った支援プログラムをホームページにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			子供の成長や変化に対応するよう見直しを行い計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			個別支援計画書の原案を作成し職員に確認修正を図り保護者の確認と進めている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			なるべく計画に沿った支援が行えるよういつでも計画書の確認ができるように保管している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	6		インフォーマルなアセスメントはできているが標準化されたものがない	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			5領域に沿った個別支援計画書を作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	6	個々の意見を取り入れながら取り組んでいる	季節の取り組みは担当を決め中心となって取り組むがそれぞれの意見をもとに修正し取り組んでいる。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	2		工夫はしたいがどうしても固定化してしまうところがある
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	3		個別活動の充実に取り組んでいく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			その日のリーダーが責任を持ち取り組むが連携して支援を行う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	6		当日には無理があるつどの報告や次の日の振り返りで話をする
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	3		業務日誌及び連絡帳で情報を記録し検証改善を行っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			基本6か月ごとの見直しを行い必要に応じ計画書を作成している。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8			移行支援、地域支援・地域連携については現状必要になっていないこともあるが状況に応じ取り組みを進めていく。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			自己選択ができるよう選択肢はあるが能動的に自己決定ができるまでの力づけに注力していきたい。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			指導主任が参加するようにしているが必要に応じ他職員も同席するなど取り組みたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			連携するまでの取り組みはできていないが身近な相談員との連携を密にとり他職種への広がりを作りたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			送迎にかかわるため下校時間などは保護者をとおして聞いている、学校での様子など不安定な時などの情報提供は受けている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	3		保護者からの情報提供で大まかな受け止めを行い支援場面で課題等があれば改めて聞き取りを行っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	2		移行した子がまだいない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	5		支援センターなどのスーパーバイズ研修の機会があればよい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	6		地域の子供との交流については公園などの遊びの場面で知り合うなどしている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4		現状は参加していない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			気になることがあれば連絡帳のやり取りの中で必要に応じ連絡調整を行う。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5		7年2月1日の講演会を契機としてペアレント・トレーニング講座開設の予定である。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			契約時など必要に応じ行いが要望があれば説明している。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			日常において送迎時に話をするが必要があれば時間を取り家族支援として行っている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			個別支援計画書の見直し時に行っている。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1		必要に応じ家族支援として行っている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	2		保護者会は実施できていないがバーベキュー交流会など家族の参加をいただき交流を図っている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			苦情があればすぐに対応し解決できるように対応している。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			ホームページにより最低限は広報しているがSNSの活用についてはラインを活用した連絡を行い、フェイスブックを始めた。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			個人情報の取り扱いについては文書を確認いただき細心の注意を払っている。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			出来るだけ情報が伝わるようカード、写真など活用し翻訳ソフトなどで伝えている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5		中々対外的にはできていないが講演会の実施などで地域への広報を行っている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1		家族に周知できていない
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	2		災害発生時、感染症発生時の業務継続計画書(BCP)を作成し周知している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1		保護者とは契約時の聞き取りおよび連絡帳及びライン等を通じ日常的に情報を得ている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3		医師の指示書はないが家族からの聞き取りで対応している
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			安全管理はされているがもう少し研修や訓練が必要だと感じる
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			安全確保について連携が取れるよう取り組んでいるがわからないとの応えがあるので今一度周知していきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			ヒヤリハットがあれば日誌に記載し必要に応じてミーティングで報告検討を行い再発防止を徹底する。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			力づくでの対応等当事者(職員)は熱心さのあまり対応しているなどあり他職員からの指摘を行うことで意識付けをしていく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	2		現状として個別支援計画書に記載する事例はないが必要があれば記載し保護者への理解協力を得る。	